

佐渡市脱炭素推進会議

第1回戦略部会の開催報告

2022年 10月

①ベストミックス構築部会（部会長：佐渡連合商工会 鍵谷 繁樹）

【主な検討テーマ】

- ・再生可能エネルギー等のクリーンな電源の大量導入や、エネルギーのベストミックスに向けた仕組みづくりに関すること

【検討内容】

- ・エネルギーのベストミックスに向けた、①発電、②送配電、③小売に関し、理想とする枠組や機能の組み立てを行い、具現化に向けた課題や実現化支援策等を検討する

【検討成果の例】

- ・再エネや蓄電設備等の大量導入に向けた仕組みづくり
- ・エネルギーマネジメント・送配電システムの検討
- ・地域新電力会社の設置・運営に向けた検討
- ・水素等の新エネルギーの製造・貯蔵・利活用に向けた検討 等

②利活用促進対策部会（部会長：佐渡ガス株式会社 小笠原 靖）

【主な検討テーマ】

- ・ 各部門での省エネ・代替エネ等の導入促進に向けた仕組みづくりに関すること

※各部門：産 業（工場・事業所、建設業、農林水産業 等）
： 運 輸（自動車、船舶）
： 家 庭（住宅）
： 公共施設（各庁舎、学校、上下水道、ごみ処理 等）

【検討内容】

- ・ 省エネ・代替エネ等の導入に係る民間参入の活発化やサービス利用者の拡大に向けて必要な支援策等を検討する

【検討成果の例】

- ・ 民間事業者による省エネ・自家消費再エネ導入支援サービスの検討
- ・ 上記の取組推進に必要な行政支援策（要望）の検討
- ・ エコポイントの付与など、インセンティブの検討 等

③情報発信部会（部会長：株式会社第四北越銀行 田中 幸二）

【主な検討テーマ】

- ・脱炭素社会の実現や省エネ・代替エネ等の導入促進に向けた普及啓発・情報発信に関すること

【検討内容】

- ・脱炭素社会の実現に向けた普及啓発や教育、情報発信等に関する取組等の検討

【検討成果の例】

- ・観光、農林水産などエコアイランドのブランド化や情報発信等に関する取組の検討
- ・賛同企業等によるゼロカーボンネットワークの構築に向けた検討
- ・上記の取組推進に必要な行政支援策（要望）の検討 等

①ベストミックス構築部会

【検討内容に関する事項】

- ・ 現状把握を共有したうえで、将来像を描くことが必要
- ・ 将来像は、単に再エネ導入に関するもののみでなく、エネルギー循環や経済循環、事業の持続可能性等を考慮したものとすべき
- ・ 2030年・2050年など、時間軸を意識した将来像とすべき
- ・ 将来像を描きつつ、太陽光やバイオマス、EMSなど、小規模でも具体的な取り組みとして成果を出していくことも重要

【検討の進め方に関する事項】

- ・ 検討項目ごとに、目標達成に向けたロードマップを示し・共有することが必要

【次回部会に関する事項】

- ・ 佐渡市の現状、島構想（将来像）の内容紹介、先進事例等について共有する機会をもったうえで、具体の議論を開始していく

②利活用促進対策部会

【検討内容に関する事項】

- ・ エネルギーの利用側の活用促進を目的とした議論を、太陽光の導入、EV等のモビリティなど、議論を分けて進めていくべき
- ・ 利活用促進を図るうえでの課題は、イニシャルコストの縮減
- ・ 再エネ導入等にあたり、PPAモデルは需要側も受け入れやすいシステムとなる。島内で経済循環ができるような体制・仕組があると良い（建築や金融分野等との連携など）

【他部会との連携に関する事項】

- ・ 利活用促進を図るうえでは、意識醸成が重要
- ・ 再エネ・省エネ設備等の導入効果、既往サービス等の紹介など、家庭等へのPRを並行して進めていくべき

【次回部会に関する事項】

- ・ 家庭や事業者など、需要施設のパターンに応じて、具体的な議論を実施していく

③情報発信部会

【検討内容に関する事項】

- ・ 現状把握・エネルギーの地産地消や再エネ利用の意義、将来の目標像を発信していくことが必要
- ・ 脱炭素と絡めた観光企画商品の展開が実現できると良い
- ・ 具体の取組を考えるうえで、ターゲットを明確にする必要がある
 - ⇒分野：観光・島のブランド化、防災 等
 - ⇒対象：観光客、小中学生 等

【他部会との連携に関する事項】

- ・ 再エネ・省エネ等の実際の取組など、PRも兼ねた情報発信も重要
- ・ 既往サービス・事業について、学生を対象とした実施現場の見学等を企画することも考えられる

【次回部会に関する事項】

- ・ 次年度の実施を念頭に、誰に対し何を発信していくか、具体的な議論を実施していく